

●3月21日（火）

≪本日のプログラム≫

- ・日本人ゲストとの懇談②

朝6時50分、初日の到着日同様方面ごとに手配されたバンに乗り込み各ホストファミリー宅を出発、空港へと向かう途中にて最後のプログラム（※現地で活躍する日本人ビジネスパーソンによる講演会）を実施しました。これも、往路欠航によるスケジュール変更（一部削除）を補うため現地運営団体の特別なはからいで設定したものです。

ゲストとしてお越しいただいたのは、「サリバン 早絵 氏」。学生時分はミャンマーでのボランティア短期滞在、一念発起し大学を退学してカナダ（トロント）へ語学留学、その後カナダの大学を卒業し、世界的スポーツシューズブランドに就職、現在はやはり世界トップ音響ブランドでマーケティング戦略を担当。一方で、podcastにて次世代のグローバル化をサポートするメンターシッププログラムも主催するなど、まさに自ら道を切り拓き、レールを敷きさらに進み続けている「グローバルパーソン」です。

彼女の講演を通して強く受けとったメッセージはシンプルです。「自分の好きなことをまずやってみる、積極的に行動する、やらない後悔は絶対したくない」。生徒に向けられるまなざしの強さとともに明確な発言一つ一つにこめられた熱い思いは、昨日までのメインプログラムを終えた後の虚脱感（※悪い意味でなく個々の充実、達成感があってのもの）、そして朝の多忙さに若干集中力が切れかけた生徒たちの姿勢を再度前のめりにさせるのに十分な迫力がありました。「積極的に行動してきたからこそ行動することが習慣化し、躊躇せずに行動できるように・・・」さらっと発せられたことばですが、高校時代から大学、そして現在に至るまで当然挫折や悔しさを味わいながらも、常に前を向き、自分の感性に正直に走り続けてきた彼女だからこそのもので、重みと深みを感じました。本連合プログラム中でも少なからず個々に困難はあったと思いますが、研修を終え帰国したのちの行動を考えるタイミングで、ご経験からのこれらのメッセージをいただけたのはとても意義ある時間となったと感じます。行動すること、継続し続けること（小さな成長を続けていくこと）の大切さを講演全体通してなげかけいただいた最後には「自分の行動と判断に責任を持つこと（誰かのせいにはしない選択を）」ということばで締めくくられました。1時間弱の短時間制限でしたが、素晴らしいクロージングをしていただけたと感じます。

その後すぐにバスは空港へ到着。研修初日から全行程に帯同し、運営責任者としてプロの仕事で円滑にそして丁寧な安全管理を、ときにはグループディスカッション・プログラムのファシリテーターとして活躍、ときに生徒のお姉さん、お兄さんとして我々以上に生徒の様子や気持ちに配慮し、常に笑顔とリーダーシップで引っ張り続けてくれたコーディネーターの「Catherine さん」「Marcell さん」とのお別れの時を迎えました。研修前半に参加してくれた学生リーダーとともに、素晴らしいチームで研修を引っ張ってくれました。お二人との別れは生徒同様に我々も非常に寂しいものでした。お二人からの最後の挨拶（メッセージ）そして、生徒2名からの代表挨拶ののち、それぞれに別れのことばを伝えつつ、出国審査場へと移動、定刻のフライトにてボストンを後にいたしました。

6日間の現地研修を終え、いよいよ日本への帰路に着きます。各校ご担当先生方には事前研修から出発まで、そして出発後にもご支援、エールをいただきつつサポートいただきましたこと、大変心強くあらためて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

以上、研修最後の報告とさせていただきます。



